

生田地区津波避難タワー (生田きぼうのタワー)



施設概要

収容可能 人数	250人	避難フロア までの高さ	5.6m	工事費	1億9千5百万円
避難対象 者	◇津波避難の際には、北へ逃げることを原則としておりますが、 <u>要配慮者(75歳以上の高齢者、障害をお持ちの方、要介護3以上の方、小さなお子さんをお連れの方、妊婦など)や逃げ遅れてしまい遠くまで逃げるできない方などが対象となります。</u>				
特記 事項	◇円滑な避難を可能とするため、階段の幅を広くした上で、一段一段の高さを小学校と同程度としています。また、階段下には、自力で階段を登ることができない方を搬送するため、担架を備え付けています。 ◇大地震発生時は、地震解錠ボックスが解錠(震度5強以上)することにより、鍵が取り出せるため、施設内に入ることができます。 ◇避難フロアには、災害発生から2日間を過ごすために必要な物資を保管する備蓄倉庫を設けています。				
愛称等 について	◇本施設の愛称は、一色東部小学校2年の新富芽衣さんによるものです。(応募総数203件の中から決定) ◇本施設に掲出している看板は、一色中学校2年の柴田大輝さんがデザインしたものです。(応募総数216件の中から決定)				

西尾市防災マスコット
「ぼうサイくん」



津波避難タワーの愛称と看板デザイン

一色町生田地区 「^{いくた}生田きぼうのタワー」

津波からたくさんの命を守ってくれる希望のタワーになるから
／一色東部小学校2年生 ^{しんとみめい}新富芽衣さん

看板デザイン／一色中学校2年生 ^{しばただいき}柴田大輝さん



工事概要

工 事 名 : 津波避難タワー建設工事【生田地区津波避難タワー（仮称）】

工 事 場 所 : 西尾市一色町生田宮西42番地

発 注 者 : 西尾市危機管理局危機管理課

設 計 : 株式会社 阿波設計事務所

工 事 監 理 : 株式会社 豊田設計事務所

施 工 : 株式会社 盛南組

建 物 概 要 : 鉄骨構造2階建て 延床面積 375.41㎡